



我が家の晴着集大成。 四枚のきものたち……

新緑、憧れの軽井沢での挙式。

■ふたり姉妹の下、ひとり息子さんの結婚式が厳かに執り行なわれ、感謝の涙に包まれました。

■この御一家は、着物に対する感性が高く、祖母(故佳子さんの代から娘さんへも受け継がれてきました。ここに並ぶ4枚のきもの

神父さんのウィット溢れる説教に一同感涙された後の幸せな笑顔。



- (左から) ●京正 誂え訪問着 (衣装包に文箱流水松) 花婿 母の妹
- 金地袋帯 (華文・格天團) 梅垣織物
- 黒留袖 (琳派・松模様) きものや特選
- 銀地袋帯 (菱取華文) 板垣織物
- 花婿の母
- 黒葉地 桜・菊 訪問着 (振袖内蔵)
- 薄灰地袋帯 (唐織 菊模様) ケイタ・マルヤマ
- 長女
- 誂え薄灰地訪問着 (琳派・松に草花模様)
- 次女
- 銀地袋帯 (富貴松韻文ふうきしょういんもん) 盡政じんせい



3月、妹さんの結婚式。誂え訪問着を初着用された笑顔の長女さん。



姉妹で仲良く後姿を……。 (今回の結婚式では、お互いのきものを取り替えてご出席) ※取り替えができるよう共通寸法で仕立てています。

■あつえ(創作)は、お好みをお聞きすることから始め、その内容に添って多くの製品や参考になるあらゆるきもの類を「賢い」たぐ事が多いです。きものは柄だけではなく、地色選びも実際に肩にかけるなどして、お顔映りも大切な要素です。気になるモノ、フヤ雰囲気の商品を選び、今回は、お好みの「琳派」の参考資料から、表現のエッセンスを加味させました。

■長女さんには、何度も通っていたき、手描きの草稿、試し描きなどで、お好みをすり合わせて行きます。今回は、松の配置、大きさなど、微調整を重ねてようやく一枚の訪問着が創作されました。



誂え訪問着 完成画像です。当店は、仕上りを具体的に工房へ伝え調整の指示を行う、いわばプロデューサー役。

今

大きく変化した「お誂え」の世界。

呉服の世界での「お誂え」とは、かつて多くの資料が揃わなかった、江戸・明治・大正の頃は、「雛形(ひながた)」などの多色刷りの木版画、閃きイメージ本から見計らいにて創作していましたが、今は多くの資料や情報がありますので、創作は思いのままに。



今回は、イメージに近いこの色留袖をたたき台にしてご自分の意向、表現のエッセンスを加えて…

昔

現在でいうファッション誌・スタイルブック。一枚一枚が和紙に刷られた木版刷りのアート作品。当に誂えの閃き本。全国の染め屋さん、呉服屋さん、いわばカタログとして置かれ、お客様との信頼関係で誂えが行われていた古き良き時代が甦ります。こうして、卓越した職人の手で、トキメキの誂えが…



明治23年 京都にて出版の雛形本 (ひながたぼん)。

心に描くきものを創る。

■これからも、お客様が心に描くきものを過不足なく表現出来る店を目指します。「きもの」は、家族を繋ぐ…をテーマに店に立ち、ご家族の集大成をデザインして参ります。

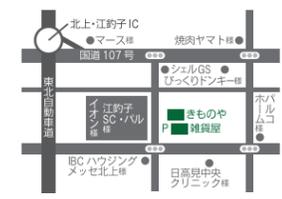


アストラランテア

娘「ママ、ね。」

■振袖以外のきものを用意してあげられなかったの、思いもあり、長女さん用に訪問着を誂えることに。昨年の秋頃からその打ち合わせが始まり、5ヶ月後の今年、春、無事、薄灰地の琳派(松栴)訪問着の一式を納品し、三月の妹さんの結婚式に間に合わせる事が出来ました。(左、シ上部中央のかがり、姉さん。今回右、シ上部の空真では右端で5月は姉さんご着用)

は、長い年月の中で揃えられた「ご家族の集大成」のように思われてなりません。



「きもの」は家族を繋ぐ。

着物あれこれ相談処

きものや 雑貨屋 ZAKKAYA

●営業時間 ●きものや AM10:00~PM6:00
●雑貨屋 AM10:00~PM6:00
●定休日 毎週水曜日

Tel. 0197-64-5595 株式会社 上 庵
〒024-0072 北上市北鬼柳20の51の10

当店 3つのご提案

成人式の振袖を『購入』するか、『レンタル』するかの大きな判断の決め手は次の通りです。

購入

何度も楽しみたい！
娘へ（次世代へ）残したい！

レンタル

手軽さがうれしい

成人式だけでなく、卒業式や謝恩会、友人や親戚の結婚式など、振袖を着る機会が複数回あるのであれば、購入・誂えをご検討されてみてはいかがでしょうか。

1.

所有・購入の道

ご本人お好みの振袖を選ば。もしくは誂える（創作）。

2.

ママ振袖の道

お母様・祖母、親類の振袖を使用される。（少々時代合わせの加工を施すか、小物で対応）

3.

レンタルの道

古風振袖レンタル。（当店の感覚で収集した稀少作品）

新提案



本格的な古風振袖レンタルの提案。



“この古風な感じが好き”とお母さん共々、喜んでもらえました。重ね染の地色、古色の枯れ感…。選ばれた感覚、流石です。

■今では探しても見つかることが出来ないロク々、当店の創作参考品の作品群の中から選んでもらい今年成人式に着用頂いた小振袖です。

きものが持つ、素晴らしい古風な感性。この日本の美意識を当店は守り抜いていきたい。

新たな道で、価値共有。

■東京でのきもの創作の仕事時代から今まで長年にわたり創作用の参考品として蒐集してきた作品群、そして自分の眼で確かめ、集めた振袖の数々。レンタルとしてご利用いただく道を新たな選択肢として加えることにしました。



時代対応はスムーズに……。

■かつて振袖は、ほとんどの方が新調されていた。史実現在は「レンタル」が主流となっています。二〇二三年四月から引き下げられる「成人年齢」など、今までの通例が大きく変化して行く時代です。

■そんな変化に合わせて「購入」「ママ振袖」に加え、新たに「古風振袖のレンタル」という選択肢をご用意することにしました。

江戸期の感性 四十八茶百風（しじゅうはつちやひやくねずみ）の美意識。まさに「渋派手」。当店が目指す世界。

■ご覧下さい。モデルさんは、ご存知、当店スタッフ千葉さんの娘さんです。（身長155cm）アンティークテイストのモノ創りを重ねている当店の、史実を永年顧っているスタッフにとっても、この良さを娘さんを通して体感できた事でしょう。

そう、だ、こんな古風な参考作品群をレンタルに活かさないだろうか……？



古の新しい……。目指した感覚。

■大正から昭和初期のアンティーク感を基調としたきものに憧れ「古いのに新しい」という提案と創作が出来る店を長い年月をかけ目指してきました。

■美しい古色の調和、美、色目の枯れ感、そして生地質感……。現在では復元、再現させる友禅等も職人も極端に減少し、この味は、時代の彼方に遠のいています。



関西に脈々と根付く「王朝美」「様式美」の世界。

■いづれかわいいた娘さん、お孫さんに本当に心から後々までも喜んでいただける晴着を持たせて差し上げるならば、さして今、感性の急成長の時、（成人年齢引き下げも加味して……）先ずは、本格的な古風なお着物をレンタルで、体感される道もありかと思えます。

女将 きものや店主 川原 秀

店主の孫々情報

孫たちが成長し、みんなで集まる機会が少なくなりました。ささ寂しい、

人生を豊かにしてくれる晴着との出逢いを……。

『きものを通して人生を豊かに』が当店の願い。きもの美しさや深さを理解出来る感性を磨かれた頃、娘さんお孫さんお気に入りの晴着選び、及び創作の日を当店は心待ちにしております。もう一度、日本に生まれた事に誇りを持ちたいものです。



しだれ桜を背中から裾へ配置した流れ……



ふにろうの筆X-1
2019年 向夏（平成31年）
令和初号 117号

本号は長女 大島家 をご紹介！長女夫婦の友人の結婚式。子どもたちもきもので出席。



（注）表面もありません。